

## 「琉球辞令書」の情報化

豊見山 和行（琉球大学教育学部）

琉球辞令書は、琉球王国時代に「御印判」「御朱印」と称され、役人・神女等の任命ないし給与授与などを布達した文書の総称である。この発給文書の収集・整理を精力的に行っている高良倉吉氏は、それらを「古琉球辞令書」「過渡期辞令書」「近世辞令書」の3タイプに分類し、現在までに「古琉球辞令書」58点、「過渡期辞令書」30点、「近世辞令書」110点の合計188点を確認している（高良倉吉「琉球辞令書の一覧表と収集現況」）

琉球辞令書の史的価値は、第一に、同時代文書であり、特に古琉球期の国内文書は碑文等に限定され数が少ないため、王国の制度史を分析する上で重要な位置を占めていること、第二に、現在確認されている文書は1523（嘉靖2）年から1878（光緒4）年までの約350年にわたっており、王国の基本構造を知る上の基本文書であること、等があげられよう。

近世期には、他の同時代史料が増大するため古琉球期ほどの位置は占めないものの、なお王国制度史の基本史料であることに変わりはない。

琉球辞令書に関する研究論考の主なものは、以下の通りである。

安良城盛昭『新・沖縄史論』（沖縄タイムス社、1980年）

上江洲敏夫「辞令書の古文書学的考察」（『辞令書等古文書調査報告書』（沖縄県文化財報告書第18集、1979年）

高良倉吉『琉球王国の構造』（吉川弘文館、1987年）

高良倉吉「近世琉球辞令書とその概況」（『神・村・人—琉球弧論叢』第一書房、1991年）

高良倉吉「琉球辞令書の一覧表と収集現況」（『琉球大学法文学部紀要 日本東洋文化論集』創刊号、1995年）

山田尚二「中世ノ口文書の紹介」（初出1967年、島尾敏雄編『奄美の文化』法政大学出版社、1976年、所収）

山田尚二「奄美の古文書」（『沖縄文化』第33・34合併号、1971年）

山田尚二「奄美における古琉球の辞令書について」（『鹿児島県錦江湾高等学校研究紀要』第12巻、1988年）

刊行された史料集（および史料紹介）には、以下のものがある。

沖縄県教育委員会編『辞令書等古文書調査報告書』（沖縄県文化財報告書第18集、1979年）

上江洲敏夫「辞令書等古文書調査報告補遺」（『沖縄県立博物館紀要』第9号～10号、1983～84年）

高良倉吉「新発見の古琉球辞令書について」（『浦添市立図書館紀要』No.2、1990年）

高良倉吉「宮里栄輝ノート中の古琉球辞令書」（『同上』No.4、1992年）

\*本テキストデータは、上記 沖縄県教育委員会編『辞令書等古文書調査報告書』に基づくものであるが、若干の誤植を訂正した。 \*原文での改行は、 / で示した。

「琉球辞令書」テキストデータの一部。

1. 渡唐船宝丸の官舎職任命辞令書

しよりの御ミ事 / たうへまいる / たから丸か / くわにしやわ / せいやりとミかひきの / 一人しほたるもい / てこくに / たまわり申候 / しよりよりしほたるもいの方へ / まいる / 嘉靖二年八月廿六日

[備考]「麻姓世系図家譜 大宗真武」四世 真孟 / 嘉靖癸未八月二十六日為進貢謝恩正議大夫 / 鄭繩長史金良赴 門虫 之時為宝丸御船之官舎到 門虫

2. 西原間切の天久里主所授与辞令書

しよりの御ミ事 / にしはらまきりの / あめくのとぬし / ところ八 / にしのおりの / 一人くわんしやに / たまわり申候 / しよりよりくわんしやか方へまいる / 嘉靖十五年五月十三日

[備考]「麻姓世系図家譜」四世 真孟 / 嘉靖十五年丙申五月十三日任西原間切 / 天久地頭職

3. 渡唐船世統富の船頭職任命辞令書

しよりの御ミ (事) / たうまい (る) / よつきとミかせん [ ] (とう八) / は糸のおり (の) / 一人あめくの大や [ ] (くもいに) / たまわり申 (候) / しより (よ) りあめくの大やくもいか [ ] (方へ) / [ ] (まいる) / 嘉靖十六年八月 [ ] (廿日)

[備考]「麻姓世系図家譜」四世 真孟 / 嘉靖十六年丁酉八月九日叙座敷 / 本年八月二十日為進貢事正議大夫陳賦長史蔡 / 廷美赴中華之時為世統富御船之使者到 門虫

4. 渡南蛮船勢治荒富の筑殿職任命辞令書

しよりの御ミ事 / まなはん糸まいる / せちあらとミかちくと [ ] (の八) / [ ] かひおりの / 一人まさふるてこく (に) / たまわり申候 / しよりよりまさふるてこくの方へまい (る) / 嘉靖廿年八月十日

[備考]「麻姓世系図家譜」五世 真命 / 嘉靖二十年辛丑八月十日為勢治荒富筑登之役赴南蛮

5. 真和志間切の儀間金城里主所授与辞令書

しよりの御ミ事 / まわしまきりの / きまのかなくすくの / さとぬしところ八 / は糸のおりの / 一人あめくの大やくもいに / たまわり申候 / しよりよりあめくの大やくもいか

方へまいる / 嘉靖二十四年十一月六日

[備考]「麻姓世系図家譜」四世 真孟 / 嘉靖二十四年乙巳十一月六日転任真和地間切儀間金城地頭職

6. 真和志間切の儀間里主所授与辞令書

しよりの御ミ事 / まわしまきりの / きまのさとぬしところ八 / は糸のこおりの / 一人きまかなくすくの大やくもいに / たまわり申候 / しよりかなくすくの大やくもいか方へまいる / 嘉靖三十年四月十三日

[備考]「麻姓世系図家譜」四世 真孟 / 嘉靖三十年辛亥四月十三日転任 / 真和地間切儀間地頭職

7. 豊見城間切の大嶺里主所授与辞令書

しよりの御ミ事 / とよミくすくまきりの / 大ミねのさとぬし / ところ八 / にしのこおりの / 一人せそこの大やくもいに / たまわり申候 / しよりよりせそこ大やくもいか方へまいる / 嘉靖三十九年八月八日

[備考]「麻姓世系図家譜」五世 真命 / 嘉靖三十九年庚申八月八日転任豊見城 / 間切大嶺地頭職